

平成20年度事業報告書

社団法人 日本観光協会

平成20年度事業報告書

I	組織活動事業	1
II	観光施策推進事業	5
III	広報宣伝事業	18
IV	観光情報の収集・提供事業	21
V	調査研究事業	23
VI	刊行物発行事業	24
VII	人材育成・研修事業	25
VIII	美化事業	27
IX	全国広域観光振興事業	28
X	ホテル・旅館登録事業	31

I 組織活動事業

1. 諸会議の開催

(1) 平成20年度（第45回）通常総会

- ①日 時：平成20年6月12日（木）14:00～
- ②場 所：東京都港区芝公園3-3-1 東京プリンスホテル
- ③議 題：
 - 1) 主要事業の取り組みの現状について
 - 2) 平成19年度事業報告（案）について
 - 3) 平成19年度決算（案）について
 - 4) 役員を選任（案）について
 - 5) 平成20年度事業計画（案）について
 - 6) 平成20年度予算（案）について
 - 7) 特別承認事項
- ④関連行事：
 - 1) 平成20年度観光事業功労者表彰
 - 2) 平成20年度日本観光ポスターコンクール入賞者表彰
- ⑤情報交換会：

(2) 第140回理事会

- ①日 時：平成20年6月12日（木）12:00～13:45
- ②場 所：東京都港区芝公園3-3-1 東京プリンスホテル
- ③議 題：
 - 1) 平成20年度（第45回）通常総会提出議題について
 - 2) 会員の入会について
 - 3) その他

(3) 第141回理事会

- ①日 時：平成20年9月17日（水）13:30～15:00
- ②場 所：東京都千代田区紀尾井町1-2 グランドプリンスホテル赤坂
- ③議 題：
 - 1) 平成21年度財団法人日本船舶振興会及び財団法人日本宝くじ協会並びに財団法人空港環境整備協会への助成金の交付申請（案）について
 - 2) 平成21年度事業計画（案）及び収支計画（案）について
 - 3) 会員の入会について
 - 4) その他

(4) 第142回理事会

- ①日 時：平成21年3月25日（水）13:30～15:00
- ②場 所：東京都港区虎ノ門4-1-1
- ③議 題：
 - 1)平成20年度事業報告（案）及び決算見込について
 - 2)全国広域観光振興基金の繰入（案）について
 - 3)平成21年度事業計画（案）及び収支計画（案）について
 - 4)全国広域観光振興基金の取り崩し（案）について
 - 5)新規会員の入会について
 - 6)その他

(5) 全国広域観光振興事業運営評議会の開催

- ①第18回 日 時：平成20年8月21日（水）
場 所：東京都千代田区 ホテル・ルポール麹町
- ②全国広域観光振興事業運営評議会の開催
第19回 日 時：平成20年3月18日（水）
場 所：東京都千代田区 ホテル・ルポール麹町

(6) 都道府県・指定都市観光協会（連盟）会長等会議の開催

- 日 時：平成20年11月26日（水）
- 場 所：東京都港区 虎ノ門パストラル
- 議 題：・平成20年度主要事業の概要及び平成21年度事業計画について
・その他
- セミナー：新公益法人セミナー

(7) 正副会長・支部長合同会議

- 日 時：平成20年2月28日（木）
- 場 所：虎ノ門パストラル 4F「プリムローズ」
- 議 題：・主要事業の概要等について
・国内観光旅行の振興について
・その他

2. 国際観光交流の促進

台湾事務所の運営（日本財団助成事業）

- インバウンド促進により国内観光振興を進めるため、当協会台湾事務所において以下のような誘客宣伝・交流活動を積極的に行った。

- ①一般消費者、旅行者、報道機関等への我が国観光情報の提供
- ②ITF等観光展における、日本パビリオンへの協力や、出展者の商談・PR等の促進支援
- ③各県等による訪台観光キャラバン隊に対する便宜供与
- ④会員の宣伝媒体の配布及び民芸品の展示によるPRの促進
- ⑤国際会議誘致業務への協力
- ④台湾における海外旅行動向需要等の情報収集

3. 行催事への後援・協賛等

各種観光関連行催事を支援するため、次のとおり行催事への後援・協賛等を行った。

行 催 事 名	申 請 者	名 義
ツアーエキスポ2008	(社)大阪国際見本市委員会	後援
第52回秦野丹沢まつり	秦野丹沢まつり実行委員会	//
第27回国内外旅行地理検定試験	旅行地理検定協会	//
第28回国内外旅行地理検定試験	旅行地理検定協会	//
第33回「京の夏の旅」事業	(社)京都市観光協会	//
第15回京都五花街合同伝統芸能特別公演	(財)京都伝統伎芸振興財団	//
第20回観光英語検定試験	全国語学ビジネス観光教育協会	//
霧多布湿原花フェア2008	浜中町観光協会	//
KING KALAKURA “THE MERRIE MONARCH” 伊香保 ハワイアンフェスティバル	2008伊香保ハワイアンフェスティバル実行委員会	//
歴史の道 会津下野街道をゆく	下郷町あるもの探し実行委員会	//
九州観光・物産フェア2008	九州観光振興機構	//
山形県の観光と物産展(名古屋名鉄展・日本橋三越展)	山形県の観光と物産展実行委員会	//
平成20年度観光に関する研究振興事業	(財)アジア太平洋観光交流センター	//
第25回飛騨高山観光大学	飛騨高山観光大学実行委員会	//
ふるさとアンテナショップめぐりキャンペーン	京王電鉄(株)	//
第24回新宿御苑・森の薪能	新宿区観光協会	//
ふるさと全国県人会まつり	読売新聞中部支社	//
全国商工会議所刊行振興大会2008 in 南九州	日本商工会議所	//
第61回秦野たばこ祭	秦野たばこ祭実行委員会	//
中部広域観光セミナー	中部広域観光推進協議会	//
京都観光未来塾	(社)京都府観光連盟	//
景観シンポジウム「景観から風景へ」	(社)国際観光施設協会	//
NPO法人日本エコツーリズム協会設立10周年記念大会	特定非営利活動法人日本エコツーリズム協会	//
平成20年度「百万にこにこホスピタリティ運動」 ウインターリゾート2009	(社)北九州市観光協会 ウインターリゾート2009実行委員会	// //
平成20年度観光ボランティアガイド茨城県大会	茨城県	//
第10回全国エコツーリズム大会in洞爺湖 g コンテンツワールド2008	全国エコツーリズム大会in洞爺湖実行委員会 (財)日本情報処理開発協会	// //
アイランダー2008	国土交通省	//
愛知の観光展	(社)愛知県観光協会	//
ヘルスツーリズムモニターツアー事業	標津町	//
第43回「京の冬の旅」事業	(社)京都市観光協会	//
第6回全国ほんもの体験フォーラムinふくい	全国ほんもの体験フォーラムinふくい実行委員会	//
平成20年度松山の物産と観光展(東京都)	松山市、(財)松山観光コンベンション協会	//
地域再生シンポジウムin留萌	留萌市、NPO法人イムノサポートセンター	//
第6回国内観光活性化フォーラム	(社)全国旅行業協会	//
台湾「京都展」	京都市	//
愛知県観光振興基本条例制定記念シンポジウム	愛知県	//
読売新聞135周年事業「平成百景」	読売新聞東京本社	//
第11回青森県の物産と観光展	(社)青森県物産協会	//
第12回青森県の物産と観光展	青森県	//
ツアーエキスポ2009	(社)大阪国際見本市委員会	//
2009「F1日本グランプリ」in鈴鹿開催記念シンポジウム	鈴鹿F1グランプリ地域活性化協議会	//
キャンピング&RVショー2009	日本RV協会	//
第1回全国高校生「観光甲子園」	観光甲子園大会組織委員会	//
産業観光フォーラム	名古屋商工会議所	//
第9回千葉観光文化フォーラム	(社)千葉市観光協会	//
第1回山形県の観光と物産展(そごう心斎橋本店展)	山形の観光と物産展実行委員会	//
観光・集客サービス産業創造フォーラム2009	特定非営利法人サービス産業振興機構	//
第51回旅と温泉展	(社)日本温泉協会	//

行 催 事 名	申 請 者	名 義
第4回日本イベント大賞	(社) 日本イベント産業振興協会	協力
第16回地域伝統芸能フェスティバルさいたま・第8回地域 伝統芸能による豊かなまちづくり大会さいたま	(財) 地域伝統芸能活用センター	〃
女将インコリア&ロシア	(財) 日本ホテル教育センター	〃
第62回全国レクリエーション大会	(財) 日本レクリエーション協会	〃
第5回日本おみやげアカデミー大賞	日本おみやげアカデミー賞実行委員会	協賛
ホテル&旅館リニューアル2008	(社) 日本経営協会	〃
HOTERES JAPAN 2009	(社) 日本能率協会	〃
環境衛生週間	環境省	〃
平成20年全国暴力追放運動中央大会	警察庁・全国暴力追放運動推進センター	〃
第41回日本観光祈願祭	(社) 伊勢市観光協会	主催
「農業と観光」セミナー	(社) ひょうごツーリズム協会	共催
平成20年度新日本観光写真展 (※)	(財) 日本交通文化協会	協賛
平成20年度東京都観光菊花大会 (※)	東京都	〃
第48回新潟県菊花展覧会 (※)	新潟県菊花連盟	〃
第49回全国推奨観光土産品審査会 (※)	日本商工会議所、全国観光土産品連盟	〃
第51回岡山県後楽園菊花大会 (※)	岡山県	後援
第44回社団法人全日本菊花連盟全国大会南砺大会 (※)	南砺市	後援

※は、当協会会長賞、記念品等を授与

4. 関係機関連絡会議の開催等

(1) 観光関係団体事務局長会議（一水会）の開催

観光関係団体の情報交流のため、観光関係団体事務局長会議（一水会）を開催した。

構成：観光関係全国団体 26団体

(社) 国際観光施設協会	(社) 国際観光日本レストラン協会
(社) 国際観光旅館連盟	(社) 全国農協観光協会
(社) 全国旅行業協会	(社) 全日本シティホテル連盟
(社) 日本オート・キャンプ協会	(社) 日本温泉協会
(社) 日本海外ツアーオペレーター協会	(社) 日本観光通訳協会
(社) 日本観光旅館連盟	(社) 日本ツーリズム産業団体連合会
(社) 日本添乗サービス協会	(社) 日本ホテル協会
(社) 日本ホテルバーメンズ協会	(社) 日本民宿協会
(社) 日本旅行業協会	(財) 国際観光サービスセンター
(財) 地域伝統芸能活用センター	(財) 日本交通公社
(財) 日本修学旅行協会	(財) 日中青少年旅行財団
(財) 日本ナショナルトラスト	(財) 日本ホテル教育センター
(株) ジェイティービー	(社) 日本観光協会

(2) 他の機関が開催する諸会議への参加、協力

地域の観光振興を推進するため、他の機関が開催する次の諸会議に参加、協力した。

- ①中央日本観光協議会（関東各県、山梨県）
- ②エコツーリズム推進協議会
- ③国際テーマ地区推進協議会

(3) 関係機関の事業促進についての参加・協力

当協会役員等が、政府・公共団体並びに観光団体等の役員・委員等に就任し、それぞれ当該機関の業務の推進を通して、観光事業の振興に努めた。

Ⅱ 観光施策推進事業

1. 旅フェア実行委員会事務局の運営等（一部全国広域観光振興事業）

当協会内に旅フェア2008事業実施のため旅フェア実行委員会事務局を設置し、その運営に当たった。
また、旅フェア2009の開催に向け、その準備を進めた。

（1）第14回日本博覧祭「旅フェア2008」事業の実施

①「旅フェア2008」実施内容

- 1) 主 催：旅フェア2008実行委員会
- 2) 後 援：国土交通省、総務省、神奈川県、横浜市
- 3) 場 所：神奈川県横浜市 パシフィコ横浜 A、B、Cホール
- 4) 会 期：「一般公開日」 平成20年6月20日（金）～22日（日）
「ビジネスデー」 平成20年6月19日（木）

5) 出展者：158団体 330小間

6) 来場者：102,832人

7) 主催者プログラム

・郷土芸能ステージ

出展地域の観光資源である地域色豊かなスケール感の高い郷土芸能のステージを展開するとともに、最新の観光情報のPRを行った。

・全国お祭りじまんコーナー

出展地域の観光資源である祭典や芸能の祭具・装具をPR展示できる特設コーナーを設置し、話題性の獲得と地域送客促進に寄与した。

・ふるさと食の振る舞い

出展地域を代表する話題性の高い食の祭典（自称日本一等）をステージで再現し、出来あがった郷土料理を来場者に無料配布し、話題性の獲得と現地送客への促進に寄与した。

・Yokoso! Japan & ニーハオ! 台湾コーナー

台湾との相互交流をキーワードに、日本から見た台湾の魅力をプレゼンテーションすることで、更なる相互交流の推進を図った。

・～ザ・スイーツ博覧会～心のスイーツ&新・日本遺産“おやつ百選

「心のスイーツ」を辿る“おやつ”の旅をテーマとし、地域との交流促進や認知促進を目的に展示販売・メイン展示・おやつ劇場の3つのゾーンで展開した。

・旅の湯治場 足湯体験

出展地域の名湯を来場者が無料で足湯体験できる特設コーナーを設置し、足湯体験による集客促進と体験を通じた地域への送客促進に寄与した。

・匠・癒し体験

出展地域の工芸や特色ある癒しを来場者が体験できる無料コーナーを設置し、交流推進及び集客促進を図った。

8) ビジネスデープログラム

・旅フェア観光商談会

着地型旅行業を含む観光関係者を対象とした観光商談会を実施し、実践的な販路拡大・開拓並びに新規旅行商品の造成および地域製品の育成・販売を図った。

・「旅フェア2008」産品相談・商談会

産品の開発・改良や販路開拓方策、評価などについてアドバイスを受ける「相談」と産品を

百貨店やスーパー等に対し販路拡大するための「商談」の機会を提供した。

・国土交通省主催セミナー

2010年の訪日外客1,000万人の誘致に向けて国土交通省が任命したYokoso! Japan大使山田まゆみさんをお迎えし業界関係者向けセミナーを実施した。

・学生による観光情報発信セミナー

日本国際観光学会との連携により、学会で実施する「ツーリズムフォーラム」等の学会関連行事を旅フェア会場内で実施した。

【テーマ】「大学と地域のコラボレーション～産学が連携した観光振興方策を探る～」

・メディアを活用した効果的観光情報発信フォーラム

観光業関係者がメディアを活用して以下に地域の情報を発信していったらよいか、メディアが取材したいネタとはどのようなモノなのか、またその情報の仕掛け方について考えるパネルディスカッションを実施した。

【テーマ】「成功事例に学ぶ、メディアと地域のコラボレート展開」

・観光アドバイザー相談会

観光による地域づくりを支援する専門家や有識者がビジネスデー来場者並びに旅フェア出展者に向けた観光アドバイスをを行う相談会を実施した。

【テーマ】「地域の旅行商品化」・「観光による地域振興」・「メディアを利用したPR」

・旅フェア交流会

出展者相互間、あるいは出展者と講演会等の出演者の交流を促進させ、良好な関係を醸成する場として交流会（懇親会）を実施した

②「旅フェア2008」実施に係る諸会議の開催

1) 第1回旅フェア実行委員会

日 時：平成19年12月10日（月）14：00～15：30

場 所：グランドプリンスホテル赤坂

2) 第1回旅フェア2008ワーキンググループ会議

日 時：平成20年2月29日（月）14：00～15：30

場 所：(社)日本観光協会 会議室

3) 第2回旅フェア2008ワーキンググループ会議

日 時：平成20年4月25日（金）14：00～15：30

場 所：(社)日本観光協会 会議室

4) 第2回旅フェア実行委員会・第1回トラベルマート春実行委員会

日 時：平成20年5月30日（金）14：00～15：30

場 所：グランドプリンスホテル赤坂

(2) Yokoso! Japanトラベルマート2008春（国庫受託事業）

旅フェア2008の開催にあわせ、ビジット・ジャパン・キャンペーンの対象国を中心とした旅行会社を招請し旅フェアの出展者との間で個別商談を行う「Yokoso! Japanトラベルマート2008春」とトラベルマートに参加する訪日旅行商品造成担当者を対象とした「ファミトリップ」を実施した。

①インバウンド商談会実施内容

1) 日 時：平成20年6月19日（木）、20日（金）

2) 会 場：神奈川県横浜市 パシフィコ横浜会議センター

3) 参加者：バイヤー105名、セラー256名

(3) 「旅フェア2009」の開催準備

旅フェア実行委員会を開催し、旅フェア2009の開催についての準備を進めた。

1) 名 称：第15回日本観光博覧祭 旅フェア2009

2) 会 期：一般公開日 平成21年5月29日（金）から31日（日）までの3日間

ビジネスデー 平成21年5月29日（金）

3)会 場：横浜市 パシフィコ横浜

4)第1回旅フェア実行委員会の開催

日 時：平成20年12月10日（水）

場 所：グランドプリンスホテル赤坂

2. 観光地づくりの推進事業

(1) 優秀観光地づくり顕彰・普及事業（全国広域観光振興事業）

積極的かつ効果的に観光振興事業を続け、他の地域の参考となるような観光地づくりの成果を生みだしている団体を表彰し、全国に広報することによって、観光地づくりの推進を図った。

①第15回優秀観光地づくり賞受賞団体の広報（再掲）

第15回優秀観光地づくり賞受賞団体については旅フェア2008の開会式（横浜市パシフィコ横浜）において下記の5団体を表彰した（応募総数14団体）。当該団体の活動事例集を作成したほか、機関誌季刊観光や観光まちづくりニュースで受賞団体の紹介記事の掲載などの広報を行った。

- 【金賞・国土交通大臣賞】 下呂温泉旅館協同組合（岐阜県）
- 【金賞・総務大臣賞】 桜川市（茨城県）
- 【(社)日本観光協会会長賞】 村上町屋商人会（新潟県）
郡上八幡観光協会（岐阜県）
たつの市（兵庫県）

②第16回優秀観光地づくり賞の募集並びに選考

平成20年10月で募集を締切、書類審査、現地調査、学識経験者、観光関係者、後援者等のメンバーによる選考委員会を経て、下記の3団体を受賞団体として決定した。（応募団体10団体）

- 【金賞・国土交通大臣賞】 長崎市（長崎県）
- 【金賞・総務大臣賞】 三浦市（神奈川県）
- 【(社)日本観光協会会長賞】 武雄市（佐賀県）

(2) フラワーツーリズムの推進

①花の観光地づくり大賞（再掲）（日本宝くじ協会助成事業）

花による観光地づくりを推進し、地域の観光に寄与している全国の市町村や団体等で最も優れた実績と将来計画を有するものに対し、「花の観光地づくり大賞」を授与するとともに、すぐれたデザインのプランターを贈呈し、「花の観光地づくり」を支援した。

なお、花の観光地づくり大賞表彰式は平成20年9月11日（木）開催の第5回「花のくに日本運動」推進大会inオホーツクで行った。

- 【大賞】 町おこしユリの会（宮城県栗原市）
足助観光協会（愛知県豊田市）
歴史ある牡丹の島大根島（島根県松江市）
- 【フラワーリズム賞】 ひまわりの里（北海道北竜町）
笠山椿群生林（山口県萩市）
鳴門市花街道・地域づくりネットワーク（徳島県鳴門市）
- 【奨励賞・花の彩り賞】 フラワーガーデン はな・てんと（北海道網走市）
大崎市三本木総合支所（宮城県大崎市）
- 【奨励賞・花の賑わい賞】 (財)須賀川牡丹園保勝会（福島県須賀川市）
水野の駅「ビュー福島潟」（新潟県新潟市）
- 【奨励賞・花の触れ合い賞】 鷺宮町（埼玉県鷺宮町）
- 【奨励賞・花の育むまちの底力賞】 井上・やまゆりの会（茨城県行方市）
あじさいの小路保存会（埼玉県本庄市）
高取町花いっぱい推進研究会（奈良県高取町）
特定非営利活動法人神山さくら会
- 【努力賞・心の花賞】 清瀬市（東京都清瀬市）
平成つつじ園（東京都練馬区）

花のジュウタン実行委員会（福井県大野市）
粕屋町（福岡県粕屋町）

②第5回「花のくに日本運動」推進大会inオホーツク

- 1)開催日：平成20年9月11日（木）～12日（金）
- 2)開催地：北海道紋別郡遠軽町 遠軽町福祉センター
- 3)テーマ：花がつなぐ交流と連携
- 4)参加者：270名
- 5)内 容：基調講演「花のくに・日本で地域共生をすすめよう」

ー都市・農村の観光連携・対流・推進方策ー

進 士 五十八 東京農業大学教授

第1分科会「花観光と異業種交流」

コーディネーター

篠 塚 宏 (株)ツーリズムマーケティング研究所主任研究員

事例発表者

飯 塚 克 身 国営武蔵丘陵森林公園都市緑化植物園園長

第2分科会「庭園の島」北海道をめざして」

コーディネーター

笠 康三郎 (有)緑化計画代表

事例発表者

内 倉 真裕美 GHIプロジェクトマネージャー、ブレインズ代表

第3分科会「花のまちづくりと住民参加」

コーディネーター

三 島 敬 子 NPO北海道・花ネットワーク理事

事例発表者

宇 野 龍 遠軽町フラワーマスター連絡協議会会長

③フラワーツーリズム推進協議会理事会の開催

- 1)開催日：平成20年5月15日（木）
- 2)開催地：東京都中央区 鉄鋼会館

(3) 産業観光の推進事業（全国広域観光振興事業他）

産業施設や産業文化遺産等を観光の対象とする産業観光が地域の観光振興や産業活性化を図る上で有望な分野として関心が高まっている。

このため、地域での産業観光に対する取り組みや旅行商品化等を促進するため、産業遺産等未使用資源の発掘や事例収集調査及び産業観光推進会議における推進方策の検討等を行うとともに、全国の産業観光を推進している地域や関連企業等が一堂に会する「全国産業観光フォーラム」等を地方自治体等と協力して開催した。

①全国産業観光フォーラムinとやま2008の開催

- 1)開催日：平成20年9月25日（木）～26日（金）
- 2)開催地：富山県富山市 富山国際会議場
- 3)テーマ：「富山のくすり」が育んだ産業の富の山
- 4)参加者：500名
- 5)内 容：基調講演「富山・売薬のころ」

米 原 寛 立山博物館館長

第1分科会「産業発展の歴史を活かす産業観光」

コーディネーター

長尾 治明 富山国際大学現代社会学教授
とやま産業観光推進協議会副会長

パネリスト

稲垣 俊吉 富山国際大学講師
元北陸電力(株)支配人・地域総合研究所長
川原 辰雄 YKK(株)経営企画室黒部広報・渉外担当
松澤 孝信 (社)富山薬業連合会常務理事
米田 芳彦 北前船回船問屋森家館長

第2分科会「産業観光とインバウンド観光」

コーディネーター

望月 照彦 多摩大学大学院教授

パネリスト

永崎 泰雄 立山黒部貫光(株)営業推進部長
大島 正敬 (社)日本観光協会事業推進部国際チームリーダー
米花 正浩 小樽雪あかりの路実行委員会副実行委員長
政所 利子 (株)玄代表取締役

第3分科会「産業観光と着地型ツーリズムの手法」

コーディネーター

佐藤 喜子光 平安女学院大学国際観光学部教授

パネリスト

池田 安隆 (株)池田安兵衛商店代表取締役
水嶋 智 国土交通省総合政策局観光資源課長
山本 芳孝 (社)全国旅行業協会参与
吉井 明生 山口県地域振興部観光交流課主任

分科会報告

須田 寛 全国観光産業推進協議会副会長
(社)日本観光協会中部支部長

②第4回産業観光ワークショップin栗原

- 1)開催日：平成21年1月30日(金)～31日(土)
- 2)開催テーマ：「産業観光で紡ぐ小さな旅」
- 3)参加者：110名
- 4)内容：モニターツアー

コース1「職人のマチと近代化産業遺産」

コース2「小さなモノづくり発見」

フォーラム

事例発表

くりはら研究所

講演

須田 寛 全国観光産業推進協議会副会長

(社)日本観光協会中部支部長

パネルディスカッション

コーディネーター

丁 野 朗 (社)日本観光協会常務理事総合研究所長

パネリスト

望 月 照 彦 多摩大学大学院教授

石 井 宏 子 温泉ビューティ研究家

全体講評

須 田 寛 全国観光産業推進協議会副会長

③全国産業観光推進協議会理事会の開催

日 時：平成20年5月15日(木)

場 所：東京都中央区 鉄鋼会館

④第2回「産業観光まちづくり大賞」の実施

【金 賞】 (財)浜松コンベンションビューロー(静岡県)

【銀 賞】 川崎市産業観光振興協議会(神奈川県)

NPO法人いくのライブミュージアム(兵庫県)

【特 別 賞】 栗原市(宮城県)

⑤産業観光推進会議第二次報告書の取りまとめ

「産業観光とまちづくり・まちづかい」を取りまとめた。

(4)ヘルスツーリズムの推進(全国広域観光振興事業)

高齢化の進む現代社会において、癒し、健康に対するニーズが高まってきており、観光においてもこれらのニーズに対する新たなツーリズムのあり方が求められている。そこで健康増進を目的とするヘルスツーリズム及びそれに伴う長期滞在型旅行をテーマとした新たな観光形態について検討を進めるととも、ヘルスツーリズムの推進、普及を図った。

①ヘルスツーリズム推進事業検討会の開催

1)ヘルスツーリズム推進事業検討会委員

佐 藤 博 康 松本大学観光ホスピタリティ学科教授

西 村 孝 司 北海道大学遺伝子制御研究所教授

宮 地 正 典 NPO健康保険ネットワーク常務理事

篠 原 靖 東武トラベル(株)企画仕入部副部長

長 嶋 秀 孝 (社)日本観光協会常務理事

丁 野 朗 // 総合研究所長

永 里 恒 昭 // 参与

2)第1回ヘルスツーリズム推進事業検討会

日 時：平成20年8月28日(木)

場 所：東京都中央区 協会会議室

議 題：ヘルスツーリズム推進協議会発足に向けて

3)第2回ヘルスツーリズム推進事業検討会

日 時：平成21年3月19日(木)

場 所：東京都中央区 協会会議室

議 題：ヘルスツーリズム基本計画（案）について

②ヘルスツーリズムに取り組んでいる地域への支援

長野県蓼科市、福島県下郷町

③ヘルスツーリズム旅行商品造成手引きの作成

(5) 着地型旅行の推進

地域密着型のニューツーリズムの推進が期待されている中、各地域が効果的な誘客を図るためには、これまでの大量送客型旅行商品造成等の取り組みとは違った視点が必要となってきた。平成20年度は社団法人全国旅行業協会が主催する国内観光活性化フォーラムを支援するとともに、随時、各地域と連携しながら着地型旅行を推進した。

(6) 自動車旅行推進事業

自動車旅行に対するこれからの情報提供等各種事業の検討を行うとともに、平成19年4月「自動車旅行推進（カーたび）機構」を設立、広報部会、フォーラム部会、コンテンツ・データベース部会、調査研究部会、旅行商品部会の5つの部会を設置し、自動車旅行の促進を図った。

①広報活動

1) 各種大型イベントへの参加

・旅フェア2008ブース出展

期 間：2008年6月20日（金）～22日（日）

場 所：神奈川県横浜市 パシフィコ横浜

2) メディアへのPR等

3) 自動車旅行推進機構ホームページでの周知

<http://www.car-tabi.jp/>

(7) 国内観光需要喚起策に係る緊急策定事業の実施（全国広域観光振興事業）

近年の国内観光需要の減小、とりわけ若い世代の旅行離れという危機的状況が続く中で、各地域において様々な取り組みが進められているが、その多くの地域において、観光客の減小に歯止めがかからず、新たな国内観光需要喚起策が強く求められているところである。

以上のような観光客の減小は、昨年秋口からの日本経済の低迷に起因するものが大きいとはいえ、特に、ここ十数年来続いている宿泊観光客の減小は構造的な問題であり、その原因究明と対策が急務となっている。

このような中、近年の国内観光需要の低迷に係る構造的な要因、特に、若者の旅行離れの原因を探り、必要な対策と考え方や具体的な指針についてとりまとめる。

① 若者消費の動向と観光産業・地域の課題の抽出

1) 若者のレジャー活動及び消費の動向

2) 若者の「消費生態系」の把握

3) 観光関係業界のキーマンに対するヒアリング調査

② 国内観光需要低迷に対する具体的なアクションプランの策定

(8) 地域要望に基づく地域への協力事業（全国広域観光振興事業）

全国の観光振興に取り組んでいる地域を対象に、その地域独自のテーマや課題にふさわしい事業を、地域自らの要望・提案に基づき実施することにより、地域の観光の推進を支援した。

支 部	内 容
北海道	訪日外国人旅行者歓迎用横断幕作成事業
東 北	東北・インセンティブ受入取組み事業
関 東	関東ブロック観光マップ作成事業
中 部	外国語による広域観光宣伝資料作成事業
関 西	「ほんまにええとこ関西 春の観光展」開催事業
中 国	YOKOSO! JAPAN トラベルマート2008秋出展事業
四 国	「四国八十八ヵ所案内」四国観光地図改訂版作成事業
九 州	韓国版観光マップ作成事業

(9) 観光地緊急支援事業（全国広域観光振興事業）

自然災害等の際において、被災地の道府県、道府県観光協会（連盟）との一致協力の下に、被災地等の観光復興のための必要な観光復興キャンペーン等を展開することにより当該地域の観光の再生を図る。

平成20年度は東北地域で岩手・宮城内陸地震をはじめ、相次いで大きな地震が発生したことから、これまでに全国旅そうだんサイトにおいて青森、岩手、宮城県の関連情報の提供を行うとともに、旅フェア2008の場で観光PRへの協力を行った。

3. 訪日外客誘致の促進に関する諸施策の推進

(1) 海外観光展への参加・調整事業（全国広域観光振興事業他）

海外で開催される国際観光展への参加は観光ディステーション、観光対象、観光施設、交通手段等を数多く潜在旅行者や観光事業者と同時に訴求できることから、観光客の誘致宣伝活動として非常に有効な手法と考えられる。このため、ビジット・ジャパン・キャンペーンの重点市場である台湾等で開催される国際旅行博に参加することにより海外からの訪日客の来訪を促進する目的で事業を実施している。

平成20年度においては、各道府県、観光協会（連盟）、観光事業者と一体となって、台北国際旅行博の機会において日本ゾーンを形成し、また、国の委託を受けてビジット・ジャパン・キャンペーンブースを出展し、日本の最新の観光情報の提供、伝統芸能等の実演など誘致宣伝活動を行うとともに、日本側参加者と現地旅行会社等との商談会を行った。

①台北国際旅行博（ITF2008）への出展

台湾観光協会が主催する台北国際旅行博（ITF2008）の機会において日本ゾーンを形成するとともに、国の委託を受けてビジット・ジャパン・キャンペーンブースを出展し、日本の最新の観光情報の提供、伝統芸能等の実演など誘致宣伝活動を行った。

- 1) 期間：2008年10月31日（金）～11月3日（月）
- 2) 場所：台北市 台北世界貿易センター
- 3) 参加国：62カ国
- 4) 出展団体：日本側33団体69ブース（全体1206ブース）
- 5) 来場者：215,125人

②高雄旅行展への出展（国庫受託事業）及び商談会の実施

台湾の第2の都市である高雄市で高雄旅行展（KTF）が開催される機会に、ビジット・ジャパン・キャンペーンを周知するとともに現地旅行社、マスコミ向けに夏期旅行商品、個人旅行商品等、訪日旅行促進のための商談会を開催し、PRを行った。

- 1) 期間：平成20年5月1日（木）～4日（日）
- 2) 会場：高雄市 高雄85大樓
- 3) 入場者：134,199人

(2) 台湾等との観光交流促進事業（全国広域観光振興事業）

日本にとって重要な観光マーケットである諸外国、特に台湾等との間で交流事業を促進するため、台湾事務所を現地事務所として都道府県及び市町村や観光協会が台湾市場に向けて行う観光情報の発信や観光宣伝事業を支援するとともに、都道府県や広域ブロックが観光宣伝誘致活動を円滑に実施できる土台作りとなる事業を実施した。

なお、台湾事務所においては、訪日外客誘致のための次の各種誘客事業を実施した。

- 1) 訪日旅行者の利便促進のための情報提供事業
- 2) 台湾への日本人旅行者に対する安全及び事故防止に関する情報提供事業
- 3) 台湾の旅行市場、観光事業等調査事業
- 4) 台湾観光関係当事者との情報交換及び連絡
- 5) その他

(3) ビジット・ジャパン・キャンペーンに関する事業の推進（全国広域観光振興事業他）

平成15年度よりビジット・ジャパン・キャンペーンが国の施策として大々的に実施されており、かつ、当協会も事務所の設置等、特に、台湾市場と深いかかわりを持つことからビジット・ジャパン・キャンペーン事業と一体となり、訪日外国人旅行者1000万人の達成に向け、効果的な外国人観光客誘致のための事業を実施した。

①海外観光展出席関連事業

ビジット・ジャパン・キャンペーンの重点市場である台湾市場において、道府県のディスティネーションの最も魅力的な部分に焦点を当てて観光魅力を積極的にPRするとともに、台湾側の旅行社や航空会社、マスコミ等に対し、随時、道府県の観光パンフレット等を提供し、旅行商品造成支援を行った。

また、Yokoso! Japanトラベルマートや日本旅行業協会が主催するJATA国際観光会議・世界旅行博に協力した。

②日台観光交流促進会

台北国際旅行博への出展の機会を捉え、ビジット・ジャパン・キャンペーン事業を積極的に展開するため日本側及び台湾側の観光関係企業・団体等のトップの方々を招き、日台観光交流促進会を開催し、日台間の交流をさらに促進するとともに、訪日旅行の促進を図った。

1) 日 時：平成20年10月30日（金）

2) 場 所：台北晶華酒店

③2009日台観光サミットの開催

日台間の観光交流は日本側のインバウンド施策「ビジット・ジャパン・キャンペーン」に加え、アウトバウンド施策としての「ビジット・ワールド・キャンペーン」が、一方、台湾側では「台湾旅行年2008～2009」といったインバウンド施策が新たに開始された。このような中、日台の観光交流300万人を目指して平成19年度に台北市で新たに開催された日台観光サミットを平成20年度は静岡県協力を得て日本で開催、日台双方の航空会社、旅行会社等のトップレベルの意見交換を行った。

1) 日 時：平成21年3月16日（月）

2) 会 場：静岡県静岡市 国際会議場グランシップ

3) 参加者：日本側46名、台湾側51名

④訪日台湾教育旅行関係者招請事業（国庫受託事業）

近年、日台間で交流が進みつつある学生・学校間の交流「教育旅行」を普及させることにより、若年層を対象とした今後の需要の開拓やリピーターの創出に繋げ、台湾からの訪日教育旅行の促進を図った。

1)台湾での現地説明会の開催

・台北地区

期 日：平成20年5月27日（火）

会 場：台北市 台北国賓大飯店

参加者：日本側24団体41名、台湾側46名

・台中地区

期 日：平成20年5月28日（水）

会 場：台中市 長栄柱冠酒店

参加者：日本側19団体31名、台湾側35名

・高雄地区

期 日：平成20年5月29日（木）

会 場：高雄市 国賓大飯店

参加者：日本側21団体36名、台湾側39名

・台東地区

期 日：平成20年 5月30日（金）

会 場：台東市 富野温泉休閒會館

参加者：日本側 8 団体15名、台湾側11名

2) 日台教育旅行交流座談会の実施

期 日：平成20年10月 3日（金）～4日（土）

会 場：大阪市 ホテルニューオータニ

参加者：日本側111名、台湾側83名

⑤訪日インセンティブツアー誘致事業（国庫受託事業）

台湾からのインセンティブツアー（報奨旅行）の誘致を目的として、台湾における現地説明会とキーパーソンの招請を行うことで、訪日インセンティブツアーの促進を図った。

1) 主催企業説明会

日 時：平成20年 8月25日（月）

会 場：台北市 国賓大飯店

参加者：日本側25名、台湾側23名

2) 台湾側旅行会社の招請及び商談会の開催

日 時：平成20年 8月26日（火）

会 場：台北市 国賓大飯店

参加者：日本側39名、台湾側39名

3) 主催企業向け日本招請プログラム

日 時：平成20年 9月24日（水）～29日（月）

商談会25日（木）

会 場：東京都 ホテメグランパシフィック

参加者：日本側39名、台湾側39名

4) 旅行会社向け日本招請プログラム

日 時：平成20年 9月25日（木）～30日（火）

商談会26日（金）

会 場：東京都 ホテメグランパシフィック

参加者：日本側88名、台湾側10名

⑥台北国際旅行博時の商談会の実施（国庫受託事業）

台湾最大の旅行博である台北国際旅展（ITF）開催時に商談会を実施した。

日 時：平成20年10月30日（木）

会 場：台北市 晶華酒店

参加者：日本側32団体252名、台湾側177名

⑦YOKOSO! JAPANカードキャンペーンの実施（全国広域観光振興事業他）

訪日外国人旅行者の利便性向上と日本での立ち寄り先を把握するためのICカードを使った事業化実験。対象は台湾と韓国の個人旅行者でICカードを無料提供した。なお、このカードには電子マネー機能の他、カードを提示すれば、旅行中に病気になった場合、母国語での相談が受けられ、診療費も軽減される。

期 間：平成20年 7月19日～9月30日

場 所：首都圏

対象者：台湾、韓国人旅行者

⑧台湾向けウェブサイト構築・運営及び情報提供事業（全国広域観光振興事業他）

台湾からの旅行者の増加促進を図るため、台湾人旅行者のニーズの高い日本国内の季節情報や訪日旅行の動機付けとなる情報を提供した。

4. 観光を考える百人委員会（全国広域観光振興事業）

広域的な観光振興のための具体的な取り組みを一層促進するため、全国を8ブロック程度に分けて、域内外の有識者や観光関係者が一堂に会して協議を行い、地域の観光施策のあり方を検討するため、観光を考える百人委員会を開催した。

① 観光立国推進リレーシンポジウム

- 1) 日 時：平成20年6月27日（金）
- 2) 場 所：愛知県名古屋市
- 3) 参加者：228名

② 第10回中部の観光を考える百人委員会総会

- 1) 日 時：平成20年8月19日（金）
- 2) 場 所：愛知県名古屋市
- 3) 参加者：152名

③ 観光立国推進リレーシンポジウムIn関西

- 1) 日 時：平成20年10月20日
- 2) 場 所：大阪府大阪市
- 3) 参加者：360名

④ 第9回中国地方の観光振興を支援する百人委員会

- 1) 日 時：平成20年11月27日（木）
- 2) 場 所：広島県呉市
- 3) 参加者：133名

⑤ 四国の観光を考える百人委員会地域フォーラム／新四国創造フォーラム

- 1) 日 時：平成20年10月17日（金）
- 2) 場 所：愛媛県今治市
- 3) 参加者：200名

5. 中部地域における国際観光交流推進事業

「愛・地球博」基本理念継承発展事業資金の配分金により、中部地域における国際観光交流推進事業を実施した。（交付先：中部広域観光推進協議会）

Ⅲ 広報宣伝事業

1. 各種コンクール事業

(1) 日本観光ポスターコンクールの実施

観光ポスターの質的向上をめざして、毎年「日本観光ポスターコンクール」を実施している。平成19年度に制作されたポスターについて優秀作品を決定した。

①応募締切:平成20年3月31日

②審査日:平成20年4月24日

③応募点数:262点(372枚)

④審査員:専門審査員

小谷 育弘 武蔵野美術大学教授

加藤 タキ コーディネーター

北山 孝雄 (株)北山創造研究所代表、プロデューサー

他に主催、後援、協賛団体各審査員

<平成20年度(第58回)日本観光ポスターコンクール受賞作品>

作品名	受賞団体
おいでませ山口デスティネーションキャンペーンポスター(はじめてなのに、なつかしい)	おいでませ山口県観光キャンペーン推進協議会 【金賞/国土交通大臣賞】
ほっかいどう時間。	(社)北海道観光振興機構 【銀賞/JRグループ賞】
四国観光誘致ポスター「恋する四国」	四国観光立県推進協議会 【銀賞/国際観光振興機構理事長賞】
松前さくらまつりポスター	松前町(北海道) 【銀賞/国際観光旅館連盟会長賞】
草津色に染まる	(社)草津温泉観光協会(群馬県) 【銀賞/日本観光旅館連盟会長賞】
栗と北斎と花のまち 信州おぶせ	小布施文化観光協会(長野県) 【銀賞/日本交通公社会長賞】
大野市観光ポスター(春・夏・秋・冬)	大野市(福井県) 【銀賞/日本交通文化協会理事長賞】
ぐんま伊香保温泉観光ポスター(石段街、河鹿橋、源泉露天風呂)	(社)伊香保温泉観光協会(群馬県) 【銀賞/日本観光協会会長賞】
「みんなで創るひろしま観光ポスター」優秀作品 わしゃえらいで。	広島経済同友会 【特別賞/地域文化賞】
札幌市観光ポスター「Rediscover」「Look at」	札幌市 【特別賞/デジタル賞】
ばいぬ島ポスター 竹富島 由布島 西表島 仲間川	竹富町観光協会(沖縄県) 【特別賞/環境賞】
横手市観光誘致ポスター 春バージョン「天然色のオブジェ」夏バージョン「ふるさとほは力」	横手市(秋田県) 【特別賞/イラスト賞】

(2) 優秀観光地づくり顕彰・普及事業（全国広域観光振興事業）

観光客はもとより地域の人にも喜ばれる観光地を目指して積極的かつ効果的に観光振興事業を続け、他の地域の参考となるような観光地づくりの成果を生みだしている団体を表彰し、全国に広報することにより、各地における優秀な観光地づくりの推進を図った。

- 【金賞・国土交通大臣賞】 長崎市（長崎県）
- 【金賞・総務大臣賞】 三浦市（神奈川県）
- 【(社)日本観光協会会長賞】 武雄市（佐賀県）

(3) 花の観光地づくり大賞（日本宝くじ協会助成事業）

花の観光地づくりを推進し、地域の観光に寄与している全国の市町村や団体等で最も優れた実績と将来計画を有するものに対し、「花の観光地づくり大賞」を決定、広報をするとともに、すぐれたデザインのプランターを贈呈し、「花の観光地づくり」を支援した。

<平成20年度受賞団体一覧>

賞	表 彰 団 体
大 賞	町おこしユリの会 (宮城県栗原市)
	足助観光協会 (愛知県豊田市)
	松江市 (歴史ある牡丹の島大根島) (島根県松江市)
フラワーツーリズム賞	北竜町 ひまわりの里 (北海道北竜町)
	萩市 (笠山椿群生林) (山口県萩市)
	鳴門市花街道・地域づくりネットワーク (徳島県鳴門市)
奨励賞・花の彩り賞	網走市 フラワーガーデン はな・てんと (北海道網走市)
	大崎市三本木総合支所 (宮城県大崎市)
奨励賞・花の賑わい賞	財団法人須賀川牡丹園保勝会 (福島県須賀川市)
	新潟市 水の駅「ビュー福島潟」 (新潟県新潟市)
奨励賞・花の触れ合い賞	鷺宮町 (埼玉県鷺宮町)
奨励賞・花の育むまちの底力賞	井上・山百合の会 (茨城県行方市)
	あじさいの小路保存会 (埼玉県本庄市)
	高取町花いっぱい推進研究会 (奈良県高取町)
	特定非営利活動法人神山さくら会 (徳島県神山町)
努力賞・心の花賞	清瀬市 (東京都清瀬市)
	練馬区 平成つつじ公園 (東京都練馬区)
	花のジュータン実行委員会 (福井県大野市)
	粕屋町 (福岡県粕屋町)

(4) 産業観光まちづくり大賞の実施

産業観光（産業遺産や現在稼働している産業施設等を活用した観光）による観光まちづくりを実践し、他の地域の模範となる地域を表彰する制度として平成19年度より創設し、本年度は下記の3団体を決定、広報した。

- 【金 賞】 (財)浜松観光コンベンションビューロー
- 【銀 賞】 川崎産業観光振興協議会～NPO法人いくのライブミュージアム～
- 【特別賞】 栗原市

2. 広報宣伝の実施

(1) 協会ウェブサイト等による広報

会員をはじめとする観光関係者に対し、電話やファックスにより広報を行うとともに協会ウェブサイトを通じて広報を行った。また、ウェブサイト「全国旅そうだん」により観光情報を一般消費者に伝え観光旅行の促進を図るため情報を収集、提供した。

(2) マスコミへの情報提供

テレビやラジオといったマスコミに対し、随時、問い合わせ等に対応するとともに、定期的に下記に対しては情報提供を行い、番組づくり等を支援した。

- ①テレビ：NHK、フジテレビ、テレビ朝日、テレビ東京、関西テレビ
- ②ラジオ：NHK、文化放送
- ③新聞：朝日新聞
- ④その他：日本文字放送

(3) 国内観光需要喚起キャンペーン事業（全国広域観光振興事業）

日本経済は金融危機の影響により輸出や個人消費など内需、外需ともに総崩れの状態となり、国内旅行需要は旅行回数や宿泊客の減少といった大きな影響を受けている。また、特に若年層の「旅行離れ」といった傾向を顕著となり、今後、いかに「旅の楽しさ、魅力」を国民にアピールし「旅をしたい、行きたい」という雰囲気醸成していかかが重要な課題となっている。このようなことから国内旅行需要を掘り起こすための「国内観光需要喚起キャンペーン（旅キャン!）」を展開した。

具体的には、WEBサイトを中心として、旅行需要の喚起に大きな役割を果たしている航空会社、鉄道会社、旅行会社、地方自治体や観光協会等のdestinationキャンペーン等と連携し、全国のキャンペーン情報を一般消費者に提供するとともに、旅行商品の造成や販売等を支援した。

① キャンペーンサイト（旅キャン：<http://www.tabi-cam.jp>）での情報提供

キャンペーンサイトである「旅キャン!」で、各地域で行われているキャンペーン・イベント情報、観光関連企業等のキャンペーン情報を紹介し、各地域の観光のPRに努めるとともに、画像情報を効果的に取り入れたサイトのリニューアルを行った。

② 食をテーマとして、「旅フェア2008」との共同企画を実施した。

③ 旅行雑誌とタイアップした登録情報の旅行商品化

旅行雑誌「じゃらん」とタイアップし、各地域から「春旅」をテーマとした情報を募集、人気の高い6地域を3月号で紹介するとともに、3月から5月期の旅行商品として造成した。

旅行商品造成地域：北海道帯広市、富山県、三重県尾鷲市、島根県隠岐の島町、
長崎県佐世保市、大分県日田市

(3) 観光による地域振興支援に係る広報事業（日本宝くじ協会助成事業）

観光を地域振興、地域活性化の柱として様々な施策を行っている市町村及び観光協会を支援するため、平成19年度から、国や業界の動向、国土交通省、総務省をはじめとする各省庁の観光振興補助事業等の紹介、新たな観光魅力の創出の事例等の情報等を提供する広報紙「観光まちづくりNEWS」を発行した。

① 規格：A4版 4頁 4色刷

② 発行部数：3000部（都道府県・主要市町村及び観光協会）

③ 発行回数：年6回

Ⅳ 観光情報の収集・提供事業

1. 総合観光情報の体系的整備事業

地域別に、「全国観光情報データベース」の更新業務を、都道府県観光協会（連盟）、市町村の協力を得て行い、最新情報の収集を図った。

2. 全国地域観光情報の提供事業(全国広域観光振興事業)

全国地域観光情報センターを通じて、ホームページを中心に情報発信を行うとともに、NTTドコモのiモード、KDDIauのEZweb、NTT東西日本のLモードサービスへの観光情報の提供も継続して実施し、一般消費者に「いつ、どこにいても、ほしいときに、ほしい観光情報」を提供する体制の整備を進めた。

(1) 全国地域観光情報センターの運営

平成19年度に引き続き、20年度も全国旅そだんの運用・運営を実施し、インターネット利用者に幅広く全国の観光情報を提供した。従来からのデータベース検索、季節情報の提供の他に、四季の狭間にあるようなテーマをもつ観光情報をプチ特集として取り上げた。情報の収集にあたっては、都道府県・都道府県観光協会（連盟）のホームページや発行冊子を参考とさせて頂いた。

旅そだん全体のアクセス件数は前年比95%であり、やや減少したが、秋の行楽シーズンは著しく増加した。

①テーマ別観光情報の提供

従来からの季節特集に加え、四季の狭間にあるようなテーマで観光情報を収集、プチ特集として掲載した。4月に潮干狩り特集、8月に立ち寄り湯特集、10月に収穫祭特集、12月に鍋特集、2月にいちご狩り特集を掲載した。

②関東地方における紅葉予測実施の波及効果

当協会では初の試みとして、気象庁が公表している予測式を活用し、関東地方の紅葉の見頃予測を旅そだん紅葉特集内で発表した。その結果、NHKテレビニュース番組（全国ネット、ローカルとも）、民放テレビ等で旅そだんが紹介され、10・11月紅葉特集の平均アクセスは約18万PV/日となり、旅そだんPRに莫大な効果をもたらした。

③季節特集の通年化

全季節特集のメニューを通年設置し、さらなるアクセス増と、YahooやGoogleといった検索エンジンでの検索結果上位への表示へとつなげた。

(2) マルチメディア型観光情報の整備

①画像情報の拡大とフォトライブラリーの構築

引き続き16万件の観光資源、観光施設等に対する画像の拡充を図るとともに、画像を閲覧できるフォトライブラリーコーナーを構築した。

また、画像の不正コピー抑止効果のある電子透かしサービスを導入した

②緯度経度情報の拡大

新規登録あるいは住所変更となった観光施設や資源の緯度経度情報を収集・更新した。

③ASP配信によるデジタル地図データの提供

(株)ゼンリン製のデジタル地図を利用、観光情報と共に提供した。

④地図検索の導入

全国旅そうだんに、デジタル地図を活用した地図検索を導入する。地図検索からの観光情報検索により、点から面へと、さらには行政域を超えた広域エリアでの観光情報提供が可能となる。

④観光ブログの充実・ブログサービスの強化

ブログサービス「旅じまん」の周知に努めるとともに、より多くの自治体・観光協会等の参画を募る。また、リニューアルにあわせ「旅じまん」をページとして独立させ、旬のキーワードやカテゴリーでブログを検索できる仕組みを導入した。

⑤道府県へのフィードバック

道府県等からの要請に応じて、旅そうだん上にてアンケート調査を実施した。

⑥全国旅そうだんのリニューアル

平成17年秋の全面リニューアルより2年が経過、国内観光の裾野拡大と広域観光の推進を目的とし、全国観光情報データベースを活用して日本観光協会ならではの観光情報の提供を主軸にリニューアルを実施した。

3. 観光情報関連事業

(1) 季節観光情報収集・提供事業の実施

季節毎の観光情報を都道府県観光協会・観光連盟や市町村等の協力を得て収集し、全国地域観光情報センターを通じて提供するとともに、携帯電話や携帯端末の観光情報サービス、カーナビゲーションシステム、マスコミ、旅行関係会社、団体等に情報提供を行った。

①収集提供情報の内容

祭・イベント、花の名所・開花、花火大会、紅葉の名所・色づき、スキー場積雪情報等

②季節毎の観光情報収集提供期間

- | | |
|----------------|--------------|
| ・花火大会情報提供事業 | 6月30日～9月19日 |
| ・紅葉・味覚狩り情報提供事業 | 9月1日～12月10日 |
| ・スキー情報提供事業 | 11月20日～5月11日 |
| ・年末年始情報提供事業 | 11月20日～1月30日 |
| ・桜情報提供事業 | 3月2日～5月11日 |

③情報の提供先

旅行会社や航空会社、地図会社、また、カーナビ、携帯情報端末、携帯電話等に観光情報を提供している会社等に幅広く観光情報を提供した。

(2) 観光情報システム連絡会議の開催

都道府県・指定都市及び観光協会（連盟）との連携強化と事務連絡の円滑化を図るため「観光情報システムに関する連絡会議」を下記5か所で開催した。

- | | | |
|-------------|-------|------|
| ①北海道・東北ブロック | 5月21日 | 仙台市 |
| ②関東ブロック | 5月13日 | 東京都 |
| ③中部・関西ブロック | 5月20日 | 名古屋市 |
| ④中国・四国ブロック | 5月9日 | 岡山市 |
| ④九州ブロック | 5月16日 | 福岡市 |

V 調査研究事業

1. 研究事業

(1) 観光の実態と志向調査（日本財団助成事業）

昭和39年以来27回目となる本調査は、我が国の伝統ある観光統計調査であり、全国4,500人を対象にアンケート調査を実施し、国民の観光需要の現状と希望の特徴を把握するとともに、年次傾向を明らかにするもの。本年度は、過去1年間の宿泊旅行、今後1年間の宿泊観光旅行の志向について分析するとともに、過去のデータからの時系列分析を行った。

(2) 受託調査事業の実施

国、地方自治体及び各種団体からの委託により、次の調査・計画策定事業の打合せ・実施等を行った。

事業名	委託者
観光地域プロデューサーモデル事業	国土交通省
高崎市観光振興計画策定事業	群馬県高崎市
旭市地域資源価値創造事業	千葉県旭市
出雲市観光基本計画策定事業	島根県出雲市
東京都観光客数実態調査事業	東京都
秋田県ヘルスツーリズム可能性調査	秋田県

(3) 観光地づくり計画手法の策定・普及事業

受託調査事業や資源づくり推進事業等を通じて、観光地づくりや観光の基礎データ等、観光に関する様々な調査、計画手法に関する研究等を行った。

VI 刊行物発行事業

1. 季刊「観光」の発行

協会の機関誌 季刊「観光」は、当協会会員をはじめ、全国の観光関係者、研究者、学識経験者、マスコミ関係者、そして観光に関心を持つ一般の消費者等、幅広い読者を持つ唯一の国内観光総合誌として評価をいただいている。

各号では、観光をめぐる最新の情報を提供するとともに、読者に関心の高いテーマを特集としてとりあげ、その分野の専門家や実務家とともに考え、事例をあげながら問題解決の方向を探った。

発行日：年4回（春号4/20、夏号7/20、秋号10/20、新年号1/20）

特集テーマ

- 2009年春号：ユビキタス社会と次世代型ツーリズム
- 2009年新年号：地球温暖化と観光振興
- 2008年秋号：観光庁発足と観光立国
- 2008年夏号：観光とバリアフリー振興
- 2008年春号：食と観光振興

2. 資料の刊行

観光に関する最新の情報やデータ、基礎的な観光資料等を提供するため、次の書籍を発行した。

(1) 数字でみる観光（2008-2009年版）

図表を中心に観光の現状をわかりやすくまとめたハンドブックで、観光の基礎的なデータを満載。
(平成20年10月発行)

(2) 全国観光動向－平成18年(度)観光客入込統計

各都道府県の観光客入込調査統計をもとに、全国各地の市町村や観光地毎の平成16年(度)の観光客数をまとめた。
(平成19年12月発行)

(3) 地域紹介・観光ボランティアガイド組織一覧（2008年版）

観光ボランティアガイドは、単に観光案内だけでなく、地域づくりに貢献するなどその重要性はますます高まっていることから、全国で活動している観光ボランティアガイド団体の組織の組織名、住所、電話番号、特色・活動内容、費用等を掲載している。
(平成20年6月発行)

(4) 観光の実態と志向（第27回）

男女全国4,500人を対象にアンケート調査を実施し、国民の観光旅行の現状と希望の特徴を把握するとともに、年次傾向を明らかにしている。昭和39年から隔年に実施してきた統計調査で、平成13年から毎年実施している。
(平成21年3月発行)

(6) ヘルスツーリズム事例報告書

ヘルスツーリズムの推進主体、推進体制や事業費、助成金基礎となるものから実際の取り組みの内容等を掲載した事例集。
(平成20年9月発行)

(7) 産業観光とまちづくり・まちづかい

地域資源を活用する産業観光が観光交流等の活性化を通じて地域の新たな産業創造を促し、地域活性化につながっている各地の事例とこれらの事業を支援するための関係省庁の各種支援制度を紹介、さらに、産業観光を通じたまちづくり、まちづかいを促進するための5つの課題を提起している。
(平成20年6月発行)

Ⅶ 人材育成・研修事業

1. 観光ボランティア支援事業（全国広域観光振興事業）

近年の観光ボランティアガイド組織の増大と地域の観光振興に占める役割の増大を踏まえ、地域と観光客との交流、地域文化の紹介、観光による地域おこしなどの観点から、観光ボランティアガイド活動の重要性、組織の育成や支援の必要性等をテーマにした全国大会を開催するとともに、啓発・研修資料の制作、ボランティアガイド活動の支援等を行った。

（1）平成20年度「地域紹介・観光ボランティアガイド全国大会（紀伊田辺熊野）」の開催

- ①テーマ：癒し 満たし ようおこし
- ②開催日：平成20年11月20日（木）～21日（金）
- ③主 催：社団法人日本観光協会
- ④共 催：石川県／田辺市
- ⑤場 所：田辺会場、龍神会場、本宮会場
- ⑥参加者：800名

（2）資料の制作

観光ボランティアガイド活動の一助として、全国の観光ボランティアガイド組織約1100団体についての現状調査を行い、各種資料づくりに役立てた。

（3）観光ボランティアガイド情報の提供

ウェブサイト「全国旅そうだん」において、全国の観光ボランティアガイド組織が検索可能なシステムを整備し、情報提供を行った。

（4）観光ボランティアガイド活動の支援

年12回開催されたかながわコミュニティカレッジ（観光ボランティア養成講座）のうち、4回講師を派遣した。

2. 地域要望等に基づく地域づくりセミナー、イベント実施事業

(全国広域観光振興事業他)

地方自治体の観光担当職員、地方観光協会（連盟）職員、観光関係企業の職員等を対象として、次表のとおり各ブロック毎に、地域の要望に応じたテーマを選んでセミナー、イベント等を実施した。

支部	内 容	日 時	開催地	参加者
北海道	セミナー「ニューツーリズムによる地域の活性化」	平成20年11月11日	釧路市	120名
東 北	東北観光セミナーin台湾	平成20年8月26日～29日	台北市	180名
関 東	観光ガイド人材育成講座	平成20年11月13日～14日	上越市	156名
中 部	中部ブロックセミナー	平成20年2月10日	福井市	140名
関 西	観光セミナー	平成21年1月13日	和歌山市	118名
		平成21年2月5日	白浜市	92名
中 国	観光アカデミー「笑いによる地域活性化と観光のあり方」	平成20年9月19日	広島市	154名
四 国	愛媛県観光地づくりセミナー	平成20年9月19日	今治市	120名
九 州	ホスピタリティ研修事業	平成21年1月30日	福岡市	134名
	観光セミナー	平成20年12月3日	武雄市	77名

3. 講師派遣

平成20年度においては、次の地域等に協会役職員を講師として派遣した。

日 付	主催団体等	講演会名	講 師
6月17日	(社)海外運輸協力協会	観光振興とマーケティングⅡセミナー	丁野 朗
7月7日	(独)中小企業基盤整備機構	地域活性化全国支援機関連絡会議	安本 達式
7月11日	中央日本観光協議会	中央日本観光協議会セミナー	安本 達式
10月8日	神奈川県	かながわコミュニティカレッジ	鷺尾 裕子
11月5日	(財)みやざき観光コンベンション協会	癒しの国みやざき観光ボランティアガイド研修会	鷺尾 裕子
11月12日	岐阜県中小企業団体中央会	台湾人旅行者受入接遇研修会	大島 正敬
11月14日	(財)社会経済生産性本部	出雲市情報化シンポジウム	安本 達式
11月18日	本庄地方拠点都市地域整備推進協議会	本庄地方拠点地域観光戦略研修会	島倉 聖朗
11月26日	神奈川県	かながわコミュニティカレッジ	鷺尾 裕子
12月3日	神奈川県	かながわコミュニティカレッジ	鷺尾 裕子
12月17日	神奈川県	かながわコミュニティカレッジ	鷺尾 裕子
12月19日	帝京大学経済学部観光学科	観光学科演習	村上 旭
2月3日	幕張メッセ関連企業懇談会	おもてなし講座	島倉 聖朗
2月5日	グローバルデザイン(株)	PAGE2009セミナー	島倉 聖朗
2月19日	茨城県・漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会	おもてなし講座	鷺尾 裕子
2月29日	静岡県東部四市広報研究会	静岡県東部四市広報研究会の県外視察	鷺尾 祐子
2月24日	神奈川県	訪問者にやさしい観光地モデル事業セミナー	森岡 順子
3月2日	神奈川県	訪問者にやさしい観光地モデル事業セミナー	森岡 順子

Ⅶ 美化事業

1. 観光地合同美化キャンペーンの実施

観光地の美化の推進を図るため次の箇所でゴミ持ち帰り、資源のリサイクルを呼びかける「観光地合同美化キャンペーン」を実施した。実施に当たっては、都道府県、市町村、観光協会等の地元関係機関・団体及び日本たばこ産業(株)の協力を得た。

支 部	実施地域		実施日	参加者
北海道	北海道千歳市	支笏湖畔他	8月3日(日)	98名
	北海道斜里町(知床)	知床峠、道の駅うとろ等	8月10日(日)	31名
東北	宮城県仙台市	宮城県仙台塩竈港	7月31日(木)	350名
	宮城県仙台市	宮城県塩竈港、仙台港	11月13日(木)	100名
関東	静岡県内	御殿場市	8月10日(日)	501名
	千葉県内	山武郡横芝町木戸浜海岸	8月30日(土)	407名
	栃木県内	日光市内(奥日光地区)	8月23日(土)	20名
中部	福井県坂井市三国町	三国サンセットビーチ	8月6日(水)	70名
関西	三重県	伊勢志摩地域	9月27日(土)	660名
	滋賀県	高島市内	9月25日(金)	20名
中国	鳥取市	鳥取砂丘	12月22日(月)	10名
	島根県邑智郡川本町	「ええなあまつりかわもと」会場	7月26日(土)	56名
	岡山県勝田郡勝央町	ファーマーズマーケット「ノースヴィレッジ」	8月23日(土)	13名
	広島県安芸高田市	土師ダム(八千代湖)周辺	8月31日(日)	140名
	山口県美祢市	景清洞周辺	9月7日(日)	41名
四国	愛媛県内子町	JR内子駅、内子の町並み界隈	7月11日(金)	380名
	香川県琴平町	JR琴平駅周辺及び参道	7月18日(金)	60名
九州	熊本県阿蘇市	阿蘇内牧温泉一帯	9月27日(土)	70名

2. スタンド灰皿の設置

人混みでの歩きたばこや、路上へのポイ捨てなどを予防し、喫煙マナー向上を図る為、スタンド灰皿を日本たばこ産業(株)の協力を得て、北海道、中部、関西、四国地域の観光地に設置した。

特大(片面・両面タイプ)、標準(屋内・屋外タイプ) 型 189基

Ⅹ 全国広域観光振興事業

1. 全国広域観光振興事業運営評議会等の開催

全国広域観光振興事業を実施するに当たり、学識経験者、地域の代表からのご意見を伺い、より効果的な事業とするため、全国広域観光振興事業運営評議会を2回開催した。

(1) 全国広域観光振興事業運営評議会の開催

第18回 平成20年8月21日 ホテルルポール麹町 麹町会館（東京都千代田区）

第19回 平成20年3月18日 ホテルルポール麹町 麹町会館（東京都千代田区）

(2) 全国広域観光振興事業運営評議会委員

（平成21年3月18日現在）

学識経験者		山本 雄二郎	（高千穂大学客員教授）
〃		岡本 伸之	（帝京大学経済学部教授）
〃		青山 佳世	（フリーアナウンサー）
〃		間宮 忠敏	（(独)国際観光振興機構理事長）
〃		森 繁一	（(財)地域創造会長）
〔都道府県職員〕 各ブロック代表者	北海道	熱田 洋子	（北海道経済部観光のくにづくり推進室長）
	東北	菅野 滋	（山形県商工労働観光部長）
	関東	久保田 篤	（長野県観光部長）
	中部	三国 栄	（石川県観光交流局長）
	関西	永井 慶一	（和歌山県商工観光労働部長）
	中国	光本 和臣	（広島県商工労働局長）
	四国	川池 秀文	（香川県商工労働部観光交流局長）
	九州	佐藤 健	（大分県企画振興部長）
〔都道府県観光協会〕 （連盟）ブロック代表者	北海道	大和田 勲	（(社)北海道観光振興機構専務理事）
	東北	小笠原 裕	（(社)青森県観光連盟常務理事）
	関東	桑原 光矢	（(社)新潟県観光協会常務理事）
	中部	藤井 健三	（(社)富山県観光連盟副会長）
	関西	中村 巖穂	（(社)三重県観光連盟専務理事）
	中国	小林 彬二	（(社)岡山県観光連盟専務理事）
	四国	竹岡 忠	（(社)徳島県観光協会常務理事）
九州	笥 従道	（(財)福岡県観光連盟専務理事）	

2. 事業実施等の状況

I. 全国観光振興事業

[1] 広域観光の広報及び宣伝事業

(1) 旅フェア事業

【 II - 1 参照 P. 5 】

(2) 国内観光需要喚起キャンペーン事業

【 III - 2 参照 P. 20 】

(3) 海外観光宣伝事業

海外観光展出展関連事業

【 II - 3 参照 P. 14 】

台湾等との観光交流促進事業

【 II - 3 参照 P. 14 】

ビジット・ジャパン・キャンペーンに関する事業の推進

【 II - 3 参照 P. 15 】

[2] 観光による地域づくりの推進事業

(1) 資源づくり推進事業

① 優秀観光地づくり顕彰・普及事業

【 II - 2 参照 P. 8 】

② フラワーツーリズムの推進

【 II - 2 参照 P. 8 】

③ 産業観光の推進

【 II - 2 参照 P. 9 】

④ ヘルスツーリズムの推進

【 II - 2 参照 P. 11 】

⑤ 着地型旅行の推進

【 II - 2 参照 P. 12 】

⑥ 観光地域振興支援事業

【 II - 2 参照 P. 12 】

⑦ 地域要望に基づく地域への協力事業

【 II - 2 参照 P. 13 】

(2) 地域づくり・人づくり事業

① 観光による地域づくり事業等の推進

観光ボランティアガイド支援事業

【 VII - 1 参照 P. 25 】

② 地域要望等に基づく地域づくりセミナー、イベント等事業の実施・地域への協力事業

【 VII - 2 参照 P. 26 】

(3) 広域観光の推進事業

観光を考える百人委員会開催等

【 II - 4 参照 P. 17 】

(4) 観光地緊急支援事業

【 II - 2 参照 P. 13 】

[3] 全国地域観光情報の収集・提供事業

【 IV - 2 参照 P. 21 】

II. ブロック別広域観光振興事業

8ブロック各々が、内外での観光展示会の参加・開催、宣伝資料の作成、セミナーの開催など自己のブロックの観光振興にとって最も重要と判断する事業を実施した。

地域名	事業内容
北海道	①ホスピタリティ推進事業 ②地域限定通訳案内士受験対策セミナー ③第16回台北国際旅行博出展事業
東北	①第16回台北国際旅行博出展事業 ②東北プロモーション事業
関東	①第16回台北国際旅行博出展事業 ②国内誘致事業(ふるさと観光展) ③国内誘致促進事業(春の関東越静観光展) ④情報提供事業(関東ブロック観光宣伝資料作成)
中部	①第16回台北国際旅行博出展事業 ②中国国際旅游交易会出展事業 ③中部広域観光推進協議会推進事業
関西	①国内観光展事業(横浜) ③国内観光展事業(大阪) ③観光宣伝資料の制作事業
中国	①旅フェア2008出展事業 ②台湾関係事業(台北国際旅行博出展事業、パンフレット等作成) ③中国地方国際観光ビジネスフォーラム開催事業 ④中国ブロック観光情報サイト推進事業
四国	①第16回台北国際旅行博出展事業 ②台北市場向けホームページ運営管理事業 ③四国インバウンドフォーラム連携事業
九州	①第16回台北国際旅行博出展事業 ②観光ボランティアガイド九州(熊本)大会の実施事業 ②九州観光パンフレットの制作事業 ③旅フェア2007出展事業 ④国際観光展への出展事業 ⑤沖縄観光大作戦事業 ⑥観光タクシー乗務員認定事業

Ⅹ ホテル・旅館登録事業

1. ホテル・旅館登録事業の実施

(1) 国際観光ホテル整備法に基づく登録業務

国際観光ホテル整備法に基づき、ホテル・旅館の登録業務を行った。

区 分	20年度 新規登録件数
ホテル 旅館	7件 11件
計	18件

(平成21年3月31日現在)

(2) 登録標識の製作・販売

登録標識4種の作成販売を行った。

(3) ホームページによる情報提供

21世紀の観光振興に大きな役割が期待されている国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル・旅館の周知のためホームページによる情報提供を行った。(http://hotel.nihon-kankou.or.jp/index.html)